

平山郁夫展

—仏教伝来の軌跡、そして平和の祈り—

2016年1月9日(土) - 2月21日(日)

10:00 - 17:00 (入場は16:30まで)

月曜休館 ※ただし1月11日は開館

盛岡市民文化ホール・展示ホール

岩手県盛岡市盛岡駅西通 2-9-1 マリオス4F

《故城下村民帰牧図》部分 (2002) 佐川美術館蔵

【入場料】一般・大学生 800円 (当日1,000円) 小・中・高生 300円 (当日500円)

*障がい者手帳提示の方 (付き添い1名まで) / 10人以上の団体 / 65歳以上の方は当日、前売り料金で入場できます。

[主催] 盛岡市文化振興事業団、岩手日報社、岩手朝日テレビ [共催] 盛岡市 [特別協賛] ⑩盛岡信用金庫 [特別協力] 中尊寺 [企画協力] 佐川美術館、産経新聞社

世界遺産登録5周年記念
中尊寺所蔵作品特別出品

平山郁夫展 ー仏教伝来の軌跡、そして平和の祈りー

我が国を代表する日本画家・平山郁夫（1930～2009）は、広島県瀬戸田町（現尾道市）に生まれ、自らの被爆体験に基づき、仏教への強い関心と平和への祈りを込めて、壮大なスケールの作品を描き続けました。シルクロードや日本各地を取材し、感銘を受けて描いた数々の作品は、現在でも見る人を魅了してやみません。

本展覧会は、300点を超える平山作品を所蔵する滋賀県守山市の佐川美術館より、《故城下村民帰牧図》や《平和の祈り—サラエボ戦跡》をはじめ、本画や素描など約80点を展示し、平山郁夫の芸術の軌跡とその旅路を紹介します。

また、2016年に世界遺産登録5周年を迎える平泉町・中尊寺より《一字金輪像 中尊寺》など7点を特別出品します。

平山郁夫プロフィール



- 昭和 5 年（1930）6月15日、広島県瀬戸田町（現・尾道市）で生まれる。
- 昭和20年（1945）修道中学3年在学時、学徒勤労動員先の広島陸軍兵器支丁廠で作業中、原子爆弾投下の瞬間を目撃。
- 昭和22年（1947）東京美術学校（現東京藝術大学）に入学。
日本画家の前田青邨に師事し、卒業制作「三人姉妹」は同校の買上げとなったほどで、学生時代から卓越した才能を開花させた。
- 昭和27年（1952）美術学校卒業と同時に東京藝術大学に奉職。
- 昭和28年（1953）「家路」で院展初入選。
- 昭和39年（1964）日本美術院同人に。
- 昭和48年（1973）東京藝術大学美術学部教授に就任。
- 昭和63年（1988）ユネスコ親善大使に就任。
- 平成元年（1989）東京藝術大学学長に就任。1995年まで務める。
- 平成4年（1992）世界平和アピール七人委員会委員に就任。日中友好協会会長に就任。
- 平成10年（1998）「国際文化交流サミット'98」が滋賀県守山市の守山市民ホールで開催、平山画伯の呼びかけにより、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスから美術館長が参加。在外日本美術品の保存・修復に関する共同宣言を発表。
- 文化勲章を受章。
- 平成12年（2000）薬師寺玄奘三蔵院《大唐西域壁画》（縦2.2m、横49m）が完成。
- 平成13年（2001）再度東京藝術大学長を務める。
日本美術院理事長、ユネスコ親善大使、世界遺産担当特別顧問、東京国立博物館特任館長、文化財赤十字活動を提唱する文化財保護・芸術研究助成財団の理事長などをつとめる。
- 平成21年12月2日に東京都内の病院で死去。

【プレイガイド】

カワトク、アネックスカワトク、フェザン、マリオスインフォメーション、盛岡市民文化ホール、キャラホール
盛岡劇場、姫神ホール、プラザおでって、東山堂書店、さわや書店、県民会館、イトーヨーカドー花巻店
江釣子SCパル、さくらホール、なはんプラザ、奥州市文化会館、メイプル、サン・リア、ニコア
ローソンチケット（Lコード: 25122）、セブン-イレブン（セブンチケット）、岩手日報社事業部

【問い合わせ】

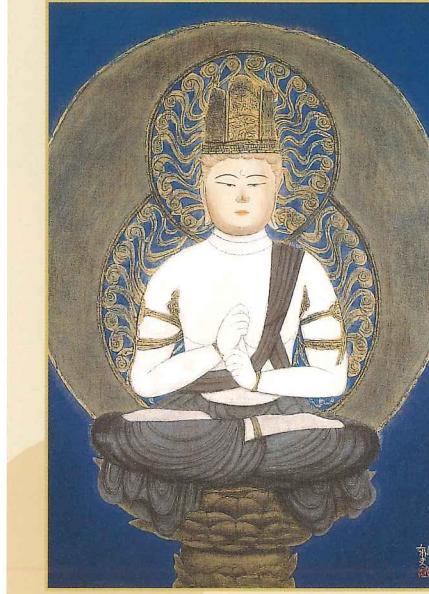
盛岡市民文化ホール（019-621-5100）※祝日以外の月曜を除く 9:00～21:30
岩手日報社事業部（019-653-4121）※日曜・祝日を除く 9:00～17:00



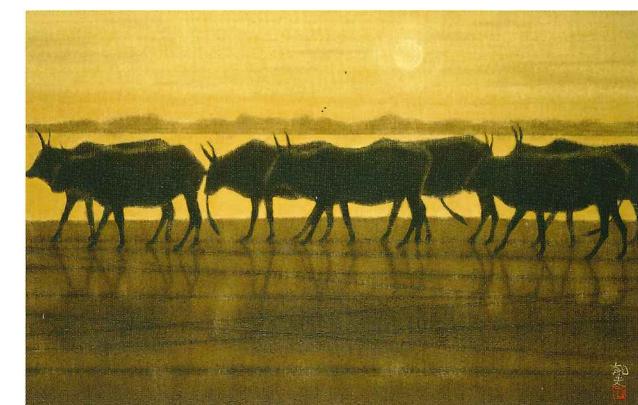
↑チケットは
こちらからも
購入できます

中尊寺所蔵作品 特別出品

《一字金輪像 中尊寺》や《中尊寺月見坂》など世界遺産登録5周年を迎える中尊寺の協力により7点を特別出品します。



《一字金輪像 中尊寺》 2002 中尊寺蔵



a



b



c



d



e

もりくんは、
「平山郁夫展」を応援しています。



あなたのそばに もっと身近に
盛岡信用金庫
盛岡市中ノ橋通一丁目4番6号
電話：019-623-2221(代表)